

9年間の義務教育の後半にあたる中学校での3年間は、卒業後の社会で充実した生活を送ることができる力、つまり「生きる力」の基礎を育む最終段階となります。変化や進化の著しい社会であっても自分の手で未来を切り拓き、夢をもってしなやかにたくましく生きていく力を育むことが私たち教員の使命であると考えます。それを果たすために、教職員がチームとして団結し、コミュニティ・スクールとして保護者や地域と協力しながら、様々な活動に取り組んでいきます。

教育活動を行う際には、ウェル・ビーイングの視点でその内容の意義や目的、安全性を十分に検討・確認・精査し、実践していくことが大切です。ポイントは、「目標をもち、主体的に取り組める活動である」こと、「人とのつながりを大切にする活動である」こと、「失敗をおそれない前向きな風土がある」こと、「個々の良さを発揮したり発見できたりする活動である」ことです。

本校は、「豊かな感性と知性を培い未来をしなやかにたくましく生きていく力を育む」ために、学校教育目標「磨こう・鍛えよう・身に付けよう」を掲げます。また、本校を「大人になるための学校」と位置付け、「品位と活気に満ち、成長を実感できる学校」（規範意識や他者への思いやり、感謝の気持ちを持ち、自分の成長を実感できる学校、一人一人が誇りをもって生活できる学校、保護者や地域から信頼され心から応援していただける学校）となることを目指していきます。

1. 学校経営の基本理念

(1) 教育に関する基本的な考え方

変化が著しく先行きが不透明で予測が困難な時代です。だからこそ人と人とのつながり、個と社会とのつながり、ウェル・ビーイングの向上を重視することが必要な時代であるともいえます。グローバル化、デジタル化が急速に進むこれからの社会をしなやかにたくましく生きていく力（知・徳・体）の基礎をバランスよく育成することが重要であるとの共通理解のもと、時代の変化に柔軟に応じた教育活動を進めていきます。

そのための柱の一つは「確かな学力を育成すること」です。子どもたちが主体的に学習に取り組む姿勢をもち、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得できるようにすることで学びの土台を固め、課題に気づき、解決するために必要な思考力・判断力・表現力が育まれるようにしていきます。

柱の二つ目が、「豊かな人間性・社会性を育成すること」です。常に他者と関わりながら生活する学校ならではの教育活動全般を通じて、社会で必要とされる様々な力が育まれるようにしていきます。

生徒たちが自己理解を深めるとともに、人権や人とのつながりを大切にし、多様性の理解を深めながら共に豊かに成長していけるようにしていきたいと考えます。指導・支援する教職員も常に研修を積み、互いに高め合いながら「子どもに寄り添う教育」を大事にしていきます。

(2) 本校の課題

【学習面】

- 学習意欲は高まってきているが、基礎学力の定着はまだ不十分。
- 授業への姿勢は前向きである一方、学力の定着に必要な取組には課題が見られる。
 - ⇒校内研究等、教員の研修による授業の工夫・改善の継続を図る。
 - ⇒家庭学習の習慣化、自主学習の効果的な方法の理解・実践を図る。
 - ⇒生徒の状況を共有しながら、きめ細かい支援・指導体制づくりをする。

【生活面】

- 全体的に素直で優しい。
- 行事や諸活動等、様々な活動に前向きに取り組むことができる、次の段階として主体的に行動したり適切に判断し自信をもって行動したりする力を伸ばしたい。
- 保護者・地域が協力的
 - ⇒一人一人の活躍の場を増やし、小さな成功を讃えながら、達成感や自己有用感の向上を図る。
 - ⇒地域行事・ボランティア活動への積極的な参加、体験学習の受け入れ先との連携等、生徒の活躍の場を増やし、地域における役割意識を高め、自己有用感と自信の向上につなげる。

こうした実態を考慮しながら品川区立学校教育要領に則って教育を進め、コミュニティ・スクールとして保護者や地域の教育力を生かした教育活動を展開し、オール大崎で生徒の生きる力を育んでいく。

(3) 教育活動の展開の柱 (グランドデザイン参照)

全教員が関わっている取組の充実 (すべての活動にウェル・ビーイングの視点を)

学びの充実
品位ある言動 ⇒ 自信や自己有用感 ⇒ 主体性の向上 ⇒ 活気
他から認められる経験

◆基礎学力の定着

- ・授業の工夫と充実 (授業力向上)
- ・一人一台端末等の効果的な活用
- ・子どもが主体となれる授業展開
- ・自学ノートの工夫と充実
- ・スモールステップの学習指導
- ・読書活動の推進 → 朝読書、司書・大崎図書館との連携、国語科での取組(ビブリアバトル等)

◆生徒会活動・行事・部活動等の特別活動の充実 (生徒の主体性を伸ばしながら)

◆ボランティア活動 (地域ボランティア、校内ボランティア)、PTAとの連携、クラブ活動的運用

◆生徒指導の充実 (学校風土の向上・未然防止の視点での取組、きめ細やかな指導、全校での共有)

◆特別な支援を要する生徒への支援の充実と協力体制 (SC、SSW、不登校巡回教員、マイスクール)

◆ウェル・ビーイング教育の推進、防災教育の重視 (生徒の主体性を伸ばす視点が大事)

2. 教育目標

(1) 教育目標

- ① 「磨こう」知恵と判断力
- ② 「鍛えよう」心と体
- ③ 「身につけよう」思いやりの心とルール

(2) 実現のための具体的方策 (R8 グランドデザイン・教育課程届参照)

3. 目指す学校像

品位と活気に満ち、成長を実感できる学校 ～大人になるための学校～

- 互いに尊重し合い、豊かな人間性が生まれ、一人一人が主役になれる学校
- 秩序が守られ、前向きな言動を大事にする、誰にとっても居心地のよい学校
- わかりやすい授業が展開され、確かな学力が身に付く学校

4. 目指す生徒像 ～知・徳・体のバランスのとれた生徒～

- 主体的に学ぶ生徒
 - よく考え、判断し、自分らしく表現できる生徒
 - 学んだことを生活に生かせる生徒
 - 自分の役割を最後まで粘り強く果たす生徒
 - 地域から学び、地域に貢献する生徒
 - 心も体も鍛え大切にすることができる生徒
 - 人を大切にし、認め合い、高め合うことができる生徒
 - 規範意識をもち、正しい判断・行動ができる生徒
 - 基本的な生活習慣をしっかりと身に付ける生徒
- 「磨こう」知恵と判断力
- 「鍛えよう」心と体
- 「身につけよう」思いやりの心とルール

5. 目指す教師像 ～常に自己の修養に努め、実践的指導力のある教師～

- 豊かな感性をもって生徒および他者に接し、人間愛に満ちている教師
- 公教育の推進に励み、生徒の考えを引き出し、個性を認め伸ばそうとする教師
- 授業を大切に考え、日々研鑽・改善を行う向上心のある教師
- 社会情勢の変容を把握し、広く豊かな教養と教科等に関する専門的知識をもつ教師